

# 幻の広浜鉄道

## 今福線とは

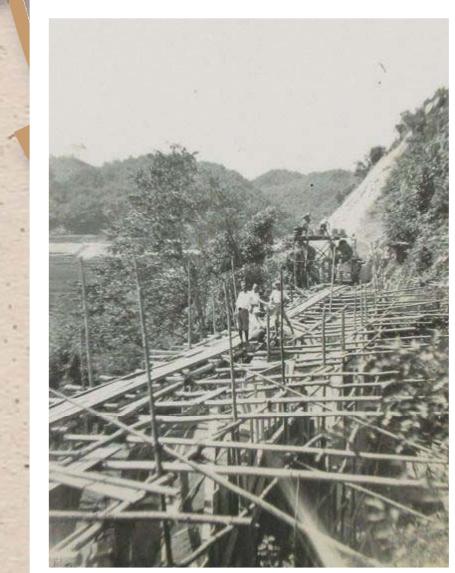
今福線は広島と浜田を結ぶ広浜鉄道の島根県側のルートとして昭和8年、山陰本線の下府駅から今福駅までが着工されました。しかし、工事がほぼ完成した昭和15年、太平洋戦争のため中断されました。戦後、ほぼ完成していた今福旧線とは別に浜田駅を起点とする今福新線で再開されました。その後、工事を引き継ぐ事業者も現れず未成線として終わり「幻の広浜鉄道」と呼ばれるようになりました。

現在、下府駅から今福駅跡地間には旧線及び新線のトンネル、橋梁、橋脚等の遺構が残っています。一部の鉄道敷地は道路に転用され使われています。

さて、平成20年10月に土木学会が、「今福線コンクリートアーチ橋群」を平成20年度選奨土木遺産に認定しました。未完成に終わった鉄道のコンクリートアーチ橋が一群として現存し、山間の景観に溶け込み悲運の歴史を伝えている、と言う理由です。



橋脚の先には…(幻に終わった今福線)



おうち泣き橋施工写真  
(昭和13年頃)



### 凡例

- 駅予定地
- トンネル
- アーチ橋
- 橋 梁
- 橋 脚
- バス停
- 駐車スペースあり
- 駐車場
- 多言語音声ガイド付案内看板
- トイレ
- ビューポイント
- ラウンドアバウト



### 遺跡巡り時の注意事項

- 自分の出したゴミはすべて持ち帰ること。
- 喫煙者は吸い殻を捨てないこと。
- 動植物を大切にすること。
- 地域の方と会ったときは挨拶をすること。また迷惑をかけないこと。
- 事故・怪我が生じた場合は自己責任となるので十分注意して行動すること。
- 立入禁止区間へは入らないこと。

ただし、浜田市へ事前許可を得ることで立ち入りが可能となります。

詳細は、浜田市ホームページ「幻の広浜鉄道今福線」を確認してください。

島根県技術士会今福線研究分科会(2021年3月現在)

[島根県技術士会のHP]<http://peshimane.net/>

・この地図は以下の助成を受けて作成しました。

2015年(一社)中国建設弘済会

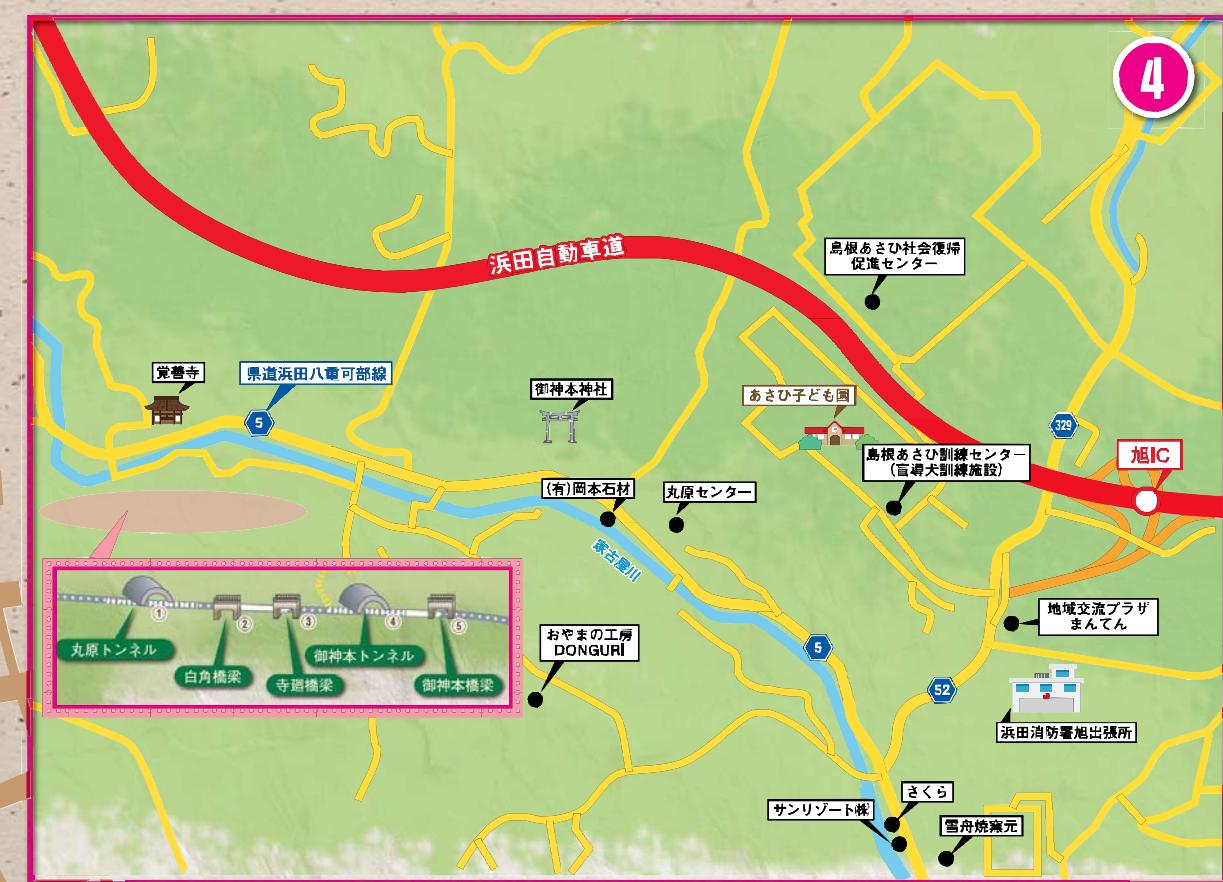
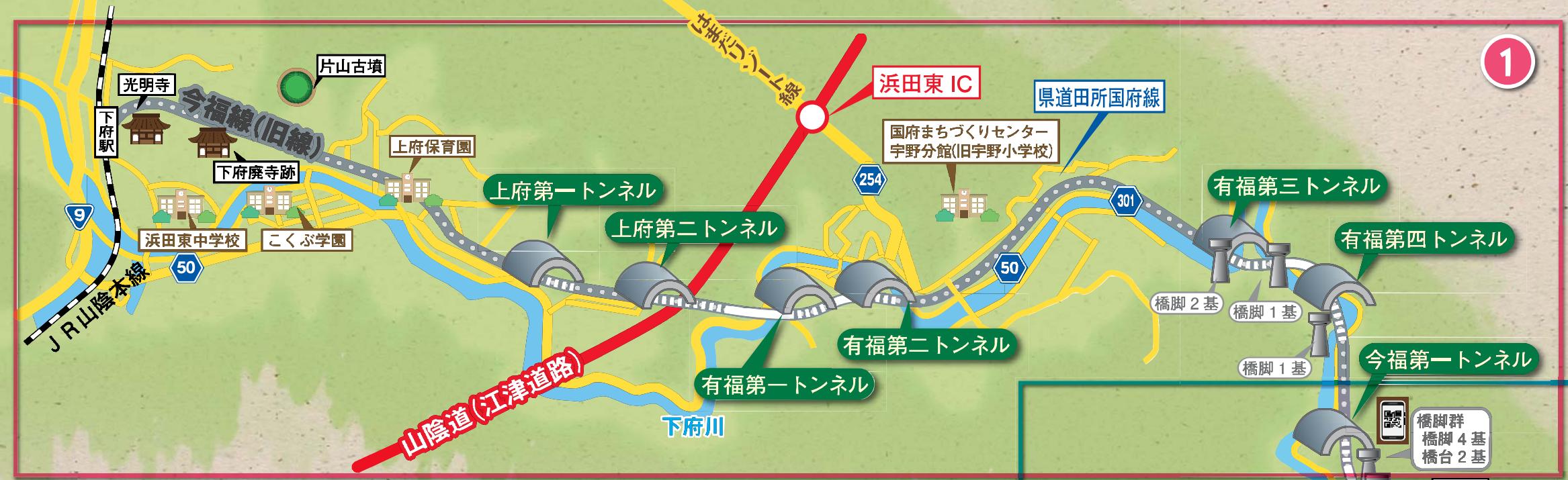
2021年(公社)土木学会中国支部

# 幻の広浜鉄道



幻の  
広浜  
鉄道

マップ



### ①下府駅(今福線起点)

2番線ホーム(右側ホーム)のさらに右側(幻の3番線)に今福線が入る予定でした。現在は空地となっています。



### ②橋梁

ここには橋梁がありましたが市道工事のため撤去されました。当時の橋梁の一部が残っています。



### ③鉄道盛土

ここから約2kmは線路敷きをそのまま市道として利用しています。この付近は当時としては大きな盛土です。



### ④鉄道切土

岩盤の亀裂が非常に多いことでダイナマイトの効果が小さくなるため、当時は難工事であったといわれています(岩盤:オンジャク岩盤(三郡变成岩))。



### ⑤下府廃寺跡(国指定史跡)

奈良時代初め頃創建し、平安時代前半まで存続したとされ、寺域は100m四方、五重塔も存在したといわれています。



### ⑥眺望地点

線路敷き(市道)が約700mほど一直線に見渡せる場所です。今福線でもっとも眺望がきく場所です。



### ⑦片山古墳入口

ここから入った丘陵斜面にあります。7世紀中頃に築造された方墳であり、この中に横穴式石室があります。この石室には人魚の肉を食べ長寿と怪力を得たという「先年比丘尼」が住んでいたという伝説があります。



### ⑧恩地橋

橋は架け替えられていますが、橋脚は鉄道橋の時の状態でそのまま使用されています。



### ⑨上府第一トンネル

以前は市道としてトンネル内を車が通行していましたが、すぐ横の県道開通後に閉鎖されました。



### ⑩上府第二トンネル

トンネル内が舗装され、照明も設置されて市道としてトンネル内を車が通行していました。現在は通行止めとなっています。



### ⑪有福第一トンネル 出口

トンネルを見つけるのが大変なくらい、周辺の自然に溶け込んでいます。近くまで接近しないと見えません。



### ⑫有福第二トンネル

有福第一トンネルよりもさらに見つけるのが難しいくらい完全に藪に埋もれています。(写真はトンネル、橋台があります)



### ⑬有福第三トンネル と橋脚

対岸のトンネル坑口と橋脚のつながりに未成線の無念さを感じさせます。



### ⑭橋脚

まるで木々の中で隠れん坊をしているように埋もれた状態です。目をこらして見なければ、なかなか見つかりません。



### ⑮橋脚

まるで木々の中で隠れん坊をしているように埋もれた状態です。目をこらして見なければ、なかなか見つかりません。



### ①橋脚群

今福線旧線では、最長の橋梁。円形の橋脚(橋の土台)は流水の影響を小さくするためのもの。全国的には舟形や小判形が多く、意外と貴重な存在です。山側に登ると橋脚があります。



## 幻の広浜鉄道 ～今福線マップ②～

### 今福第一トンネル

① 橋脚群  
橋脚 4 基  
橋台 2 基

千谷棚田

七瀬川

大年神社

石見まちづくりセンター宇津井分館  
(旧石見公民館宇津井分館)

### ⑤ 4連アーチ橋

平成20年10月

土木学会認定選奨土木遺産銘板

地元自治会作成の案内板



### ⑦ 今福第五トンネル と橋脚

「今福第五トンネルの北と南の坑口側には各々橋台と橋脚があります(写真は北側坑口からみた橋台と橋脚)。このトンネルの中には横穴を掘ってJR西日本の地震計が設置しており、今福線のトンネルの中で唯一活用されています。



トンネル坑口(南側)



トンネル坑口(北側)

### ⑦ 今福第五トンネル

### ⑤ 4連アーチ橋

### ④ 今福第三トンネル

### ビューポイント

### ⑥ 今福第四トンネル

### 1連アーチ橋

八旗山八幡宮

県道佐野波子  
停車場線

301

下府川

橋脚 1 基  
橋台 1 基

橋脚 1 基  
橋台 1 基

良昌禅寺

浜田自動車道

### ② 線路敷と サイフォン

今福線旧線の線路敷きです。サイフォン式の通水塔や石積み擁壁が間近で見られます。



### ③ 5連アーチ橋

5連のアーチ橋は、県道として使用されています。県道下に降りて眺めると面白い構造であることが解ります。



### ④ 今福第三トンネル

5連アーチ橋の南にある今福第三トンネル。路線敷きは舗装されていますが、現在は通行止となっています。



### ⑥ 今福第四トンネルと 1連アーチ橋

4連アーチ橋を渡り、トンネルをくぐった先の1連のアーチ橋です。





